

# 第80期 報告書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで



SHINKO

新光電気工業株式会社

証券コード6967





代表取締役社長

## 清水満晴

株主の皆様には、平素より当社事業運営にひとかたならぬご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、第80期報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

パソコン、スマートフォン、デジタル家電、そしてエレクトロニクス化が進む自動車や社会のさまざまなモノがインターネットに繋がるIoT (Internet of Things) 関連市場など、半導体は、人々のより快適で、安心・安全な暮らしを支え、豊かに彩るエレクトロニクス製品の頭脳としてさらに用途を広げ、今後、半導体産業は中長期的に成長を持続することが見込まれます。

一方で、高集積化・高速化等の技術革新および絶えず創出される市場ニーズに対し、低コストかつ迅速に対応し得る開発・生産体制を構築するこ

とを要するなど、世界規模での競争がさらに激化することが予想されます。

当社グループは、このような産業にあって、半導体実装を主軸とした要素技術の開発・強化に努め、優れた競争力を有する商品の市場投入を強力に推進するとともに、生産性向上ならびにコストダウンに注力することなどにより、さらに強固な企業基盤の確立をはかってまいります。

さらに、当社グループの企業理念・指針「SHINKO Way」の実践を通じ、市場において必要とされる企業であることはもとより、社会において必要とされる企業であり続けるべく事業を展開してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年6月

### ■ 平成26年度の事業概況

当期の半導体業界は、スマートフォンや自動車向けの旺盛な需要に牽引されましたが、パソコン市場は低調のまま推移し、低価格スマートフォンの浸透等を背景に市場構造の変化が進むなど、企業間競争が激化する厳しい市場環境が継続しました。

このような環境の下、当社グループでは、フリップチップタイプパッケージが価格低下等の影響を受けましたが、市場ニーズに即した生産体制の強化や積極的な受注活動を展開したことなどにより、リードフレームの需要が拡大するとともに、セラミック静電チャックやスマートフォン等向けのIC組立の売上が増加し、当期の連結売上高は1,428億15百万円（対前期比1.7%増）となりました。収益面については、生産革新活動を継続し、円安・ドル高の進行が寄与したものの、市場価格低下の継続に加え、新製品量産体制整備等のための設備投資に伴う減価償却費が増加したことなどにより、連結ベースの経常利益は89億73百万円（対前期比38.1%減）、当期純利益は64億42百万円（同30.8%減）となりました。

単独決算につきましては、売上高1,338億98百万円（対前期比1.2%増）、経常利益77億17百万円（同41.9%減）、当期純利益54億97百万円（同34.8%減）を計上いたしました。なお、当期の配当につきましては、普通配当10円に特別配当5円を加えて期末配当金を15円とし、中間配当金の10円とあわせて年間25円とさせていただきます。

### ■ 今後の見通し

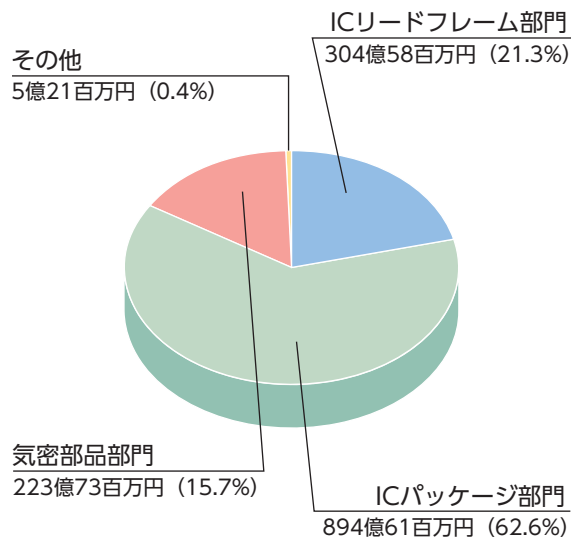
今後の半導体業界は、新興国におけるスマートフォン市場の伸張や、カーエレクトロニクス化の進展など、一層の市場成長が見込まれる一方で、パソコン向けは一定の市場規模を維持するものの、厳しい環境が継続し、また、スマートフォン向けをはじめとして、高品質かつ低価格化へのニーズがさらに増すとともに、市場構造が常に変化する厳しい事業環境が継続するものと想定されます。

このような環境の下、当社グループでは、フリップチップタイプパッケージについては、一層の生産性向上等に努め、次世代製品向けや高付加価値製品の開発・市場投入に注力するなど、基盤ビジネスとして競争激化に対処してまいります。また、スマートフォン、カーエレクトロニクス市場向けにIC組立等の拡販ならびに当社製品の高い信頼性をもとに受注増が期待される車載IC向け各種製品の販売強化に注力するとともに、IoT関連市場など、今後、高機能半導体へのニーズがさらに高まることが想定される市場において、新商品の事業化をはかるべく、マーケティング機能、開発機能等の充実にも努めるなど、重点的に経営資源の投下をはかってまいります。

熾烈な競争が繰り返される半導体市場にあって、当社グループは、ものづくり、技術、サービスで常に先行することにより、市場・環境の変化に即応できる強靱な企業体質の構築をはかり、「限りなき発展」を果たしてまいり所存であります。

# 部門別の状況

## 部門別売上高構成

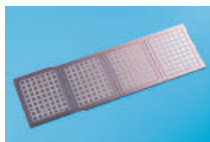


※ ( ) 内の数字は構成比率を表わしております。

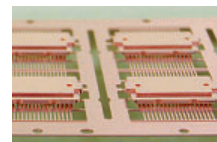
### ICリードフレーム部門



プレスリードフレーム



QFNタイプ  
リードフレーム



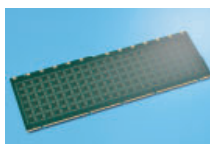
かしめリードフレーム

搭載製品例 スマートフォン、自動車、パソコン、家電・産業用他

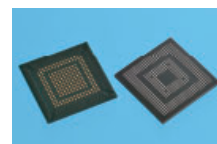
### ICパッケージ部門



フリップチップタイプ  
パッケージ



プラスチック  
BGA基板



IC組立

搭載製品例 パソコン、サーバー、スマートフォン、民生機器他

### 気密部品部門



光素子用ガラス端子



センサー用ガラス端子



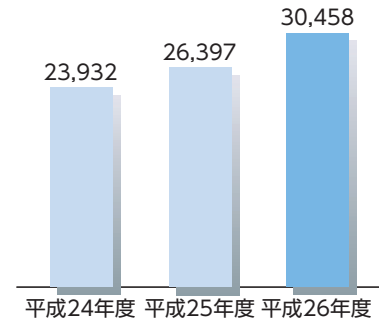
セラミック  
静電チャック

搭載製品例 自動車、半導体製造装置、民生機器、通信機器他

売上高 **304億58百万円** (前期比 **↑ 15.4%**)

プレスリードフレームは、パソコン、デジタル家電市場等向けにおける在庫調整の影響を受けたものの、エレクトロニクス化が進む自動車向けの受注が増加しました。エッチングタイプリードフレームは、スマートフォンをはじめ幅広い用途において旺盛な需要が続くQFN（クワッド・フラット・ノンリード）タイプの生産体制増強をはかったことなどにより増収となりました。この結果、当部門の売上高は304億58百万円（対前期比15.4%増）となりました。

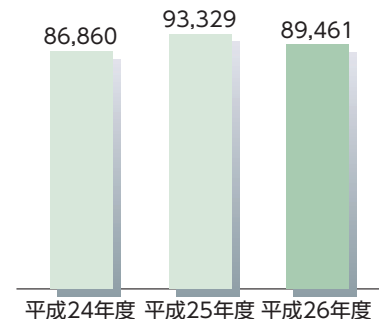
部門別売上高 (百万円)



売上高 **894億61百万円** (前期比 **↓ 4.1%**)

フリップチップタイプパッケージは、民生機器向けの需要等は増加しましたが、パソコン市場低迷、競争激化に伴う価格低下等の影響を受け、売上が減少し、また、プラスチックBGA（ボール・グリッド・アレイ）基板は、スマートフォン等のメモリー向けの受注が低迷しました。アSEMBリ事業においては、スマートフォン等向けのIC組立は市場変動の影響を受けましたが、新製品の量産体制整備に注力したことなどにより、売上が増加した一方で、カメラモジュール組立は民生機器向けが低調のまま推移しました。MPU向けのヒートスプレッダーはパソコン市場低迷の影響等を受け、減収となりました。この結果、当部門の売上高は894億61百万円（対前期比4.1%減）となりました。

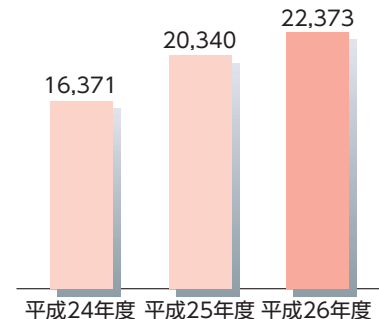
部門別売上高 (百万円)



売上高 **223億73百万円** (前期比 **↑ 10.0%**)

光素子用ガラス端子は、民生機器向けの需要が減少し、また、センサー用ガラス端子は、国内自動車市場の回復鈍化等の影響を受け、減収となりました。一方、半導体メーカーの設備投資が堅調に推移したことなどを背景に、半導体製造装置用のセラミック静電チャックの需要が拡大し、売上増となりました。この結果、当部門の売上高は223億73百万円（対前期比10.0%増）となりました。

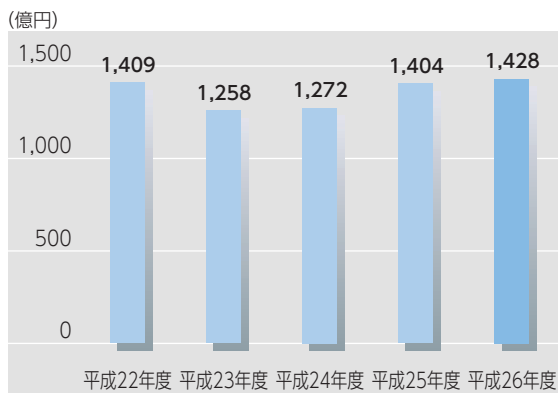
部門別売上高 (百万円)



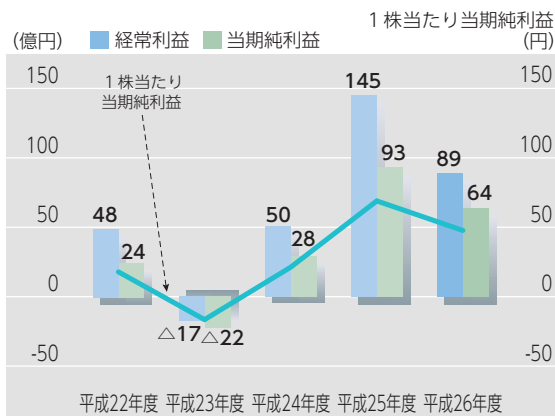
# 業績の推移

〔連結〕

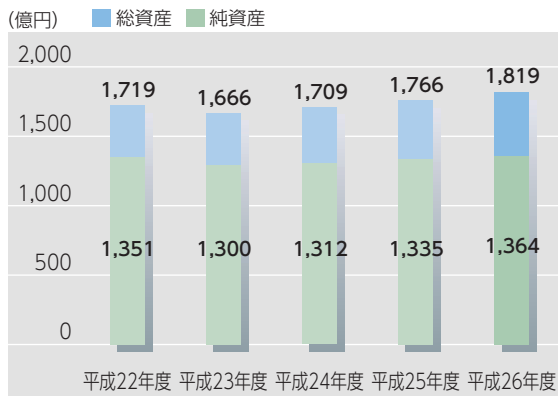
## ■ 売上高



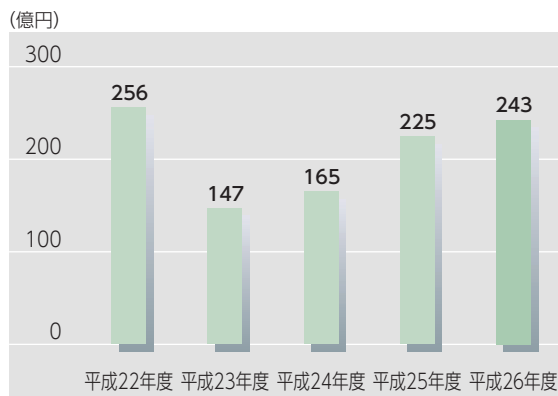
## ■ 経常利益 / 当期純利益



## ■ 総資産 / 純資産

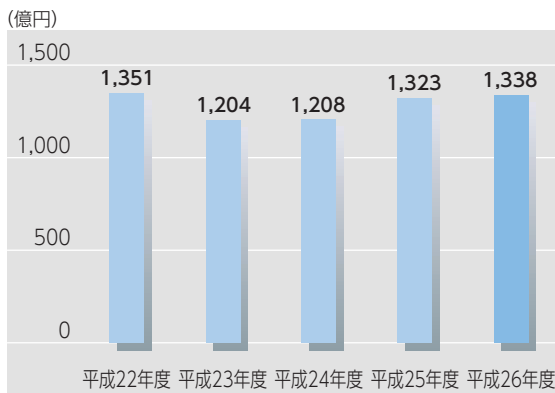


## ■ 設備投資

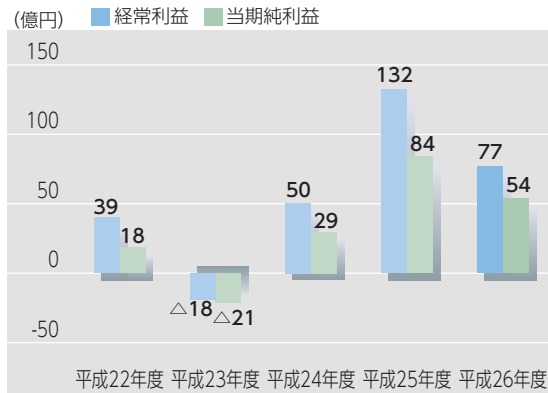


## [単独]

## ■ 売上高



## ■ 経常利益/当期純利益



## ■ 営業成績および財産の状況の推移

区分	年度	平成22年度 〔第76期〕	平成23年度 〔第77期〕	平成24年度 〔第78期〕	平成25年度 〔第79期〕	平成26年度 〔第80期(当期)〕
〔連結〕	売上高 (百万円)	140,923	125,825	127,241	140,412	142,815
	経常利益 (百万円)	4,828	△ 1,758	5,049	14,501	8,973
	当期純利益 (百万円)	2,404	△ 2,242	2,874	9,309	6,442
	1株当たり当期純利益	17円80銭	△ 16円60銭	21円28銭	68円91銭	47円69銭
	総資産 (百万円)	171,921	166,686	170,966	176,651	181,903
	純資産 (百万円)	135,198	130,048	131,206	133,536	136,407
	1株当たり純資産	1,000円80銭	962円68銭	971円25銭	988円50銭	1,009円75銭
	設備投資 (百万円)	25,683	14,771	16,596	22,508	24,324
	研究開発費 (百万円)	4,081	4,544	4,231	4,218	3,946

## [単独]

売上高 (百万円)	135,161	120,438	120,867	132,302	133,898
経常利益 (百万円)	3,984	△ 1,895	5,008	13,280	7,717
当期純利益 (百万円)	1,846	△ 2,165	2,943	8,435	5,497

## ■ 連結貸借対照表

平成27年3月31日現在

(単位：百万円)			(単位：百万円)		
科目	当期	前期	科目	当期	前期
資産の部	181,903	176,651	負債の部	45,495	43,115
流動資産	99,712	101,721	流動負債	35,879	34,377
固定資産	82,190	74,929	固定負債	9,616	8,737
有形固定資産	77,160	69,613	純資産の部	136,407	133,536
無形固定資産	993	1,012	株主資本	144,431	139,888
投資その他の資産	4,036	4,304	資本金	24,223	24,223
資産合計	181,903	176,651	資本剰余金	24,129	24,129
			利益剰余金	96,171	91,627
			自己株式	△ 92	△ 92
			その他の包括利益累計額	△ 8,023	△ 6,351
			負債純資産合計	181,903	176,651

## ■ 連結損益計算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位：百万円)		
科目	当期	前期
売上高	142,815	140,412
売上原価	125,689	118,428
売上総利益	17,125	21,983
販売費及び一般管理費	12,543	12,668
営業利益	4,581	9,315
営業外収益	4,414	5,214
営業外費用	22	28
経常利益	8,973	14,501
特別損失	558	486
税金等調整前当期純利益	8,414	14,014
法人税、住民税及び事業税	1,800	3,120
法人税等調整額	171	1,584
当期純利益	6,442	9,309

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

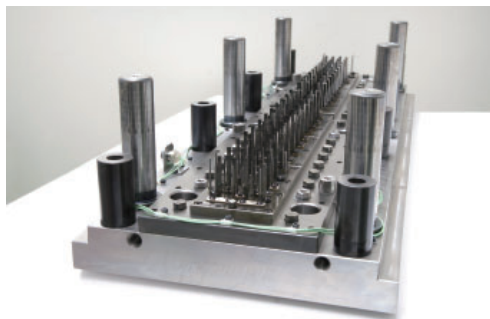
(単位：百万円)		
科目	当期	前期
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,003	27,762
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 26,009	△ 20,795
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,424	△ 2,740
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,744	584
現金及び現金同等物の増減額	△ 10,685	4,810
現金及び現金同等物の期首残高	55,023	50,213
現金及び現金同等物の期末残高	44,337	55,023



### 精密金型の設計・製造技術をもとに

当社グループは、リードフレームやガラス端子、MPU用ヒートスプレッダー等の金属を素材とした多様なプレス製品を展開しています。金型の設計・製造から、微細なプレス加工にいたるまで、一貫生産体制を構築しており、社員一人ひとりの技術と経験により、生産性と精度の向上を両立し、お客様のご要望にお応えしています。

高精度のプレス製品は、精密な金型技術から生み出されています。当社グループは、リードフレーム等の生産を通じ、長年にわたり培ってまいりました金型の設計・製造技術をもとに、今後、成長が期待され、高い精度と信頼性が要求される自動車市場等への展開をはかってまいります。

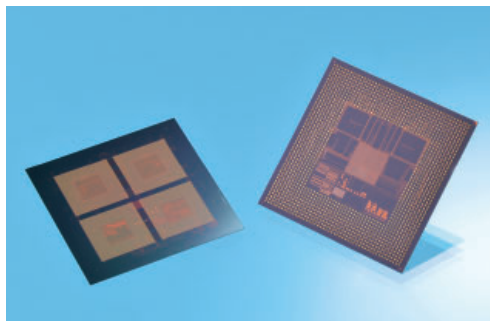


リードフレーム用プレス金型

### 次世代パッケージ市場における展開

電子機器、自動車、産業機器など、幅広い分野で活躍する半導体を支える技術として、半導体パッケージングの技術は、日々進化しています。特に、ハイエンドサーバーや高機能モバイル端末などの最先端分野では、半導体チップの高集積化に対応するため、従来の有機材料の他に、シリコンやガラスなどの無機材料を用いる技術や、半導体チップを積み重ねてさらに集積度を高める3次元実装の実用化に向けた技術の開発が進められています。

当社グループは、微細化や高機能化が進む半導体チップの性能を確実に発揮させるために、その特性や製品の使用環境に応じたさまざまな半導体パッケージの開発に取り組んでおり、次世代パッケージ市場におけるニーズの獲得に注力してまいります。



シリコンを用いたインターポザー基板

# 会社の概要

## Corporate Outline

(平成27年3月31日現在)

- 商号 新光電気工業株式会社
- 設立年月日 昭和21年9月12日
- 本社 長野県長野市小島田町80番地  
電話 (026) 283-1000 [代表]
- 主な事業内容 リードフレーム、プラスチック・ラミネート・パッケージ、ガラス端子などの製造・販売、ICアSEMBリ
- 従業員数 4,117名 (連結4,905名)
- 工場等 更北、若穂、高丘、新井、京ヶ瀬、  
新光開発センター、栗田総合センター
- 営業所等 東京、大阪、仙台、長野、名古屋、大分、福岡、  
マニラ
- 子会社 新光パーツ株式会社  
新光テクノサーブ株式会社  
SHINKO ELECTRONICS (MALAYSIA) SDN. BHD.  
KOREA SHINKO MICROELECTRONICS CO., LTD.  
SHINKO ELECTRIC INDUSTRIES (WUXI) CO., LTD.  
SHINKO ELECTRIC AMERICA, INC.  
KOREA SHINKO TRADING CO., LTD.  
TAIWAN SHINKO ELECTRONICS CO., LTD.  
SHANGHAI SHINKO TRADING LTD.  
SHINKO ELECTRONICS (SINGAPORE) PTE. LTD.

## 取締役および監査役

(平成27年6月24日現在)

取締役会長	藤本 明
代表取締役社長	清水 満 晴
取締役副社長執行役員	豊木 則 行
取締役専務執行役員	依田 稔 久
取締役常務執行役員	浅野 義 博
取締役常務執行役員	高柳 秀 則
取締役上席執行役員	長谷部 浩
常勤監査役	小川 喜 彦
監査役	北澤 光 二
監査役	安井 三 也

## 執行役員

(平成27年6月24日現在)

常務執行役員	今井 邦 彦
上席執行役員	三井 精 造
上席執行役員	荻原 俊 彦
上席執行役員	清野 貴 博
上席執行役員	菊地 貴 人
上席執行役員	村田 明 彦
執行役員	有賀 広 志
執行役員	小林 純 一
執行役員	小池 和 男
執行役員	平林 利 康
執行役員	南沢 克 夫
執行役員	倉嶋 進
執行役員	大日方 政 史
執行役員	田口 哲 夫
執行役員	田中 正 人
執行役員	永田 欣 司
執行役員	伊藤 明 彦
執行役員	小澤 隆 史
執行役員	小平 正 司

# 株式の状況

## Shareholders' Data

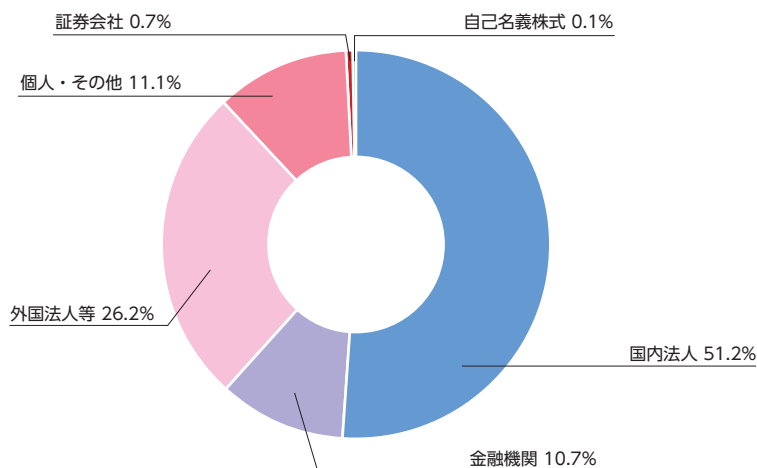
(平成27年3月31日現在)

■発行可能株式総数	540,000,000株	■資本金	24,223,020,480円
■発行済株式の総数	135,171,942株	■株主数	13,105名
■大株主			

株主名	所有株式数 (千株)	出資比率 (%)
富士通株式会社	67,587	50.00
THE BANK OF NEW YORK - JASDECTREATY ACCOUNT	2,385	1.76
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,143	1.59
THE BANK OF NEW YORK 133522	2,089	1.55
株式会社八十二銀行	1,836	1.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,815	1.34
CMBL S.A. RE MUTUAL FUNDS	1,601	1.18
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	1,528	1.13
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	1,513	1.12
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	1,330	0.98

## 所有者別株式分布状況

(平成27年3月31日現在)



## 株式事務のご案内

### ■株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

(連絡先)

〒100-8212  
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-232-7111 (通話料無料)

### ■事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

### ■基準日

定時株主総会関係  
配当金受領株主確定日

3月31日  
3月31日および中間配当金の支払いを行う  
ときは9月30日

### ■公告方法

電子公告  
当社は、公告を下記ホームページに掲載して  
おります。

<http://www.shinko.co.jp/ir/kk/>

ただし、事故その他やむを得ない事由によっ  
て電子公告による公告をすることができない  
場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他の各種  
お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関（証券  
会社等）にお問い合わせください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、  
三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の連  
絡先にお問い合わせください。三菱UFJ信託銀行全国各支店におい  
てもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払  
いたします。



新光電気工業株式会社

〒381-2287 長野県長野市小島田町 80 番地  
電話(026)283-1000【代表】FAX(026)284-8861  
<http://www.shinko.co.jp>



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



地球環境に配慮した植物油  
インキを使用しています